

留 学 報 告 書

作成日:2018年6月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ピアスカレッジ 現地言語: Pierce College
留学期間	2017年9月～2018年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年6月18日
明治大学卒業予定年	2020年3月

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
プログラム費用		円	
保険料		154,290円	両学校で加入
授業料		637,642円	
宿舍費		725,736円	
生活費		439,840円	
食費		175,483円	
渡航旅費		197,928円	
その他		円	
合計		2,330,919円	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
寮
2)滞在費
1クォーター2,200ドル
3)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2人)
4)設備について
<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂(浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他(エアコンは暖房のみ)
5)住居を探した方法:
学校のパンフレット
6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ルールが厳しい、スタッフが不親切、値段が高い。ホームステイにすべきだった。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか?
<input checked="" type="checkbox"/> した (ピアスカレッジの学費に毎学期保険が含まれています) <input type="checkbox"/> しなかった
3)留学前後での予防接種の必要の有無
<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無
4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか?
留学生専用のオフィスがあり、とても親切に何でも対応してもらえます。
5)現地の治安はどうでしたか? また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
よかった。
6)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか? (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
ソフトバンクのアメリカ放題を利用した。寮にも学校にもWi-Fiがある。
7)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
Bank of America に口座を作り、デビットカードを利用した。親にアメリカから引き下ろせるキャッシュカードをもらい、それで引き落としていた。
8)利便性、買い物はどうでしたか? また現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば入力してください。 基本的に何でも買える。ただし特に女性は、肌に触れる生活用品(化粧水、洗顔料など)は日本から持っていきべき。アメリカ人とアジア人の肌は違うので、1日で乾燥がひどくなってしまった。アジアマーケットでも手に入るが、値段は日本で買う3倍くらいかかるため、日本で買っていきべき。
9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
現地でキャッシュを下ろして学校のキャッシャーで支払った。
10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。
基本的に何でも手に入るが、アジアマーケットでは通常の(日本で買う値段)3倍の値段になることだけ頭に留めておくべき。

渡航について

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。
ビザの種類(F-1・J-1 など): F1
2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。
政府のサイトから基本事項と面接日程の予約、証明写真など。
3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)
約 14 日 (あまり覚えていない)
4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)
出国: 2017年9月16日 帰国: 2018年6月18日
5)経路を入力してください。(例: 成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)
成田→シアトル
6)現地での出迎え
<input checked="" type="checkbox"/> 有 (決められた日程なら無料) <input type="checkbox"/> 無
7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容
到着後 5 日以内ほど、クラス分けテスト(ESLのみ)、キャンパス案内、アメリカにおける生活の基礎知識

卒業後の進路について

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。
未定。
2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点
特になし。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
45単位	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Fundamentals of Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input checked="" type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 50 分が 5 回
担当教授	Patric Daugherty
授業内容	人前でスピーチをすることについての授業、プロセス、実際のスピーチ 6 回程度。
試験・課題など	数回の教科書の内容テスト・6 回程度のスピーチ。
感想を自由に述べて下さい	人前に出て話すことが得意な人も苦手な人も、何かしらの課題が見つかり成長できると思います。私はそんなに得意な方ではなく、ましてネイティブスピーカーの前で英語

	でスピーチするというとても難易度の高い授業でしたが、各スピーチが終わった時には達成感と成長を感じられてとてもいい機会になったと思います。
--	--

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Intercultural Communication	インターカルチュラル・コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input checked="" type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に130分が2回
担当教授	Nichole Nicholson
授業内容	異文化間でのコミュニケーションについて様々な事を学び、異文化への理解も深めました。
試験・課題など	毎授業前に教科書の1チャプターを読んでくる・教科書についての中間と期末テスト・教科書の担当するチャプターのプレゼンテーション・最終グループプレゼンテーション。
感想を自由に述べて下さい	興味のある分野だったのでとても面白かったです。先生がみんなにフレンドリーでとてもいい雰囲気の授業でした。グループワークが多いのでクラスメイトと関わる機会が多いです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Cultural Anthropology	カルチュラルアンソロジー
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Mary L. Russell
授業内容	様々な文化という面から見た人類学。人類学といっても、ものの考え方など身近に感じる事がテーマになっていて、とても面白いと思います。グループディスカッション・クラス全体のディスカッションが多い授業でした。
試験・課題など	週に2回、グループディスカッションへの準備・異文化に触れる週末課題・決まったテーマに関するエッセイテスト・その他の課題。
感想を自由に述べて下さい	とにかくディスカッションが多く、準備をするのもディスカッションで発言するのも含めて自分にとって負担の多い授業でしたが、先生がとても優しく、留学生のことをとても気にかけてくれました。また授業の内容でも自分の文化について説明したり、活躍の場を設けてくれるような先生・授業がとても良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
American Mosaic	アメリカンモザイク
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input checked="" type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に50分が5回

担当教授	Karen Danner
授業内容	格差、人種差別、ジェンダーなどアメリカの持つ様々な問題を、人類学的に見るという授業。課題図書で出される本もそういった内容で、表面的にしか知らなかったアメリカの内側を知ることが出来ました。
試験・課題など	課題図書・それについてのディスカッション・異文化に触れる課題・レポート・本授業に関する最終レポート。
感想を自由に述べて下さい	日本には分からない、アメリカのことを勉強できるとてもいい機会、日本との差についても強く意識するようになりました。人種差別のようなバックグラウンドを持つ問題について深く考えたり、そういった現状が実際に人々の人生をどのように取り巻いているのかなどを知ることが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Accelerated English	アクセレイテッドイングリッシュ
科目設置学部・研究科	English
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Kayla Pohl
授業内容	アメリカのカレッジ授業で通用するレポート・エッセイの書き方について学ぶ授業。
試験・課題など	数回の課題エッセイ・期末試験として授業内エッセイ。
感想を自由に述べて下さい	先生の技術も高く、授業の雰囲気も楽しくとても有意義な授業でした。国際日本学部の英語の必修授業をもっと深く学ぶといった感じです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Reading For College 99	リーディングフォーカレッジ99
科目設置学部・研究科	English
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Irene Brewer
授業内容	リーディングの授業・週1回テストに向けて教科書で予習・教科書に付いているミニテストが課題・ブックレポート・その他レポート。
試験・課題など	週1回、テストに向けて教科書で予習・教科書に付いているミニテストが課題・ブックレポート・その他レポート。
感想を自由に述べて下さい	課題の多い授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Listening Speaking 3	リスニングスピーキング3
科目設置学部・研究科	Intensive English Program
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位

本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に80分が4回
担当教授	Ellen M. Wright
授業内容	リスニングとスピーキング
試験・課題など	短いスピーチ。録音の課題など毎日出ます。
感想を自由に述べて下さい	毎日課題が出るので慣れるまでは大変でした。たまにほかのクラスと合同で行われたりします。色々な国から来た友達が沢山出来ます。先生もお昼休みに質問を聞きに行ったりできて距離が近いクラスでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Advanced Grammar3	アドバンスドグラマー3
科目設置学部・研究科	Intensive English Program
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Leona M. Ansley
授業内容	日本で習うような文法の授業を英語で習うといった感じです。
試験・課題など	週1回くらいのペースで時制のミニテスト・中間と期末テスト・教科書問題の課題。
感想を自由に述べて下さい	あまり難しくはありませんが、先生がとてもいい人で大好きでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Reading Writing3	リーディングライティング3
科目設置学部・研究科	Intensive English Program
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に110分が5回
担当教授	Andrea Whittemore
授業内容	リーディング・単語・クイズ・エッセイなど。
試験・課題など	教科書問題やエッセイなどの課題・教科書についての期末テスト。
感想を自由に述べて下さい	グループワークでクイズをしたりして、楽しく学べる授業でした。クラスメイトと多くコミュニケーションを取る場だったと思います。

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	大学受験、明治入学
4月～7月	入学、初めてのTOEFL iBT 受験
8月～9月	夏休み・バイト・TOEFL iBT への勉強
10月～12月	TOEFL iBT 受験・出願
2017年 1月～3月	選考・結果発表
4月～7月	オンライン英会話
8月～9月	オンライン英会話、英会話単語帳・初めての英語圏での海外旅行・留学出発
10月～12月	学校、英会話単語帳
2018年 1月～3月	学校、英会話単語帳
4月～7月	学校
8月～9月	まだ
10月～12月	まだ

留学体験記

留学しようと思った理由	高校生の頃から留学したいと思っていました。留学のできる大学・学部を選んだのも、ここにつながります。父親も大学生のとき1年間留学していたので、親の理解もありました。半年では物足りないというイメージも持っていたので、一年間の留学を選びました。実際、半年くらいの時期になったころにはホームシックもなくなり、アメリカの生活にも慣れて楽しんでいる頃だったので、1年間にして良かったと思います。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	もっと行く前に勉強しておけば良かったと思いました(特にリスニング、または大学受験レベルの英単語だけでも)。もともとリスニング力が低かったので、最初の頃はネイティブの話していることがわからず、困ることが多かったです。英語での電話には一番苦戦しました。留学前にしたことはTOEFL iBT の受験に向けて勉強したこと、オンライン英会話を半年間ほどなるべく毎日利用して、外国人との会話に慣れるように練習していました。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト等	私は最初の1学期は英語だけのクラスを取っていて、TOEFLで61点以上を取らなければいけなかったもので、それに向けて学校の授業と並行して自分で勉強していました。TOEFLの学習サイトで、無料で練習できるサイトを見つけて練習していました。単語をかなり忘れていたので、日本から大学受験の時に使っていた単語帳を持っていけば良かったなと思いました。課題提出などはほぼ学校のネットページ(Oh-o! Meijiのようなサイト)で提出していたので、それが一番使っていたサイトです。
この留学先を選んだ理由	治安がいい、学力が高い(4年制大学編入率が高いことから)、学費が低いことが主な理由です。治安がいいことは保護者も気になることだったので、比較的治安のいいと言われているワシントン州シアトルを選びました。実際に行ってみると、シアトルからは少し離れているところで、家族向けの地域という印象を受けました。多くの生徒は4年制大学への編入を目標として通っているので、みんなGPAを気にして勉強を頑張っていました。彼らに影響されて、私も明治大学にいるときは比にならないくらい勉強していました。
大学・学生の雰囲気	日本人が少ないことが一番の魅力だと思います。他の学校に行っていた友達に聞くと、やはり日本人同士で固まってしまうらしく、そういったことにならなかったため、有意義な留学生活になったと確信しています。学生は大人や赤ちゃん連れの人もたくさんおり、どんな人でも学べるという印象がありました。みんな勉強熱心で、雰囲気もいいと思います。留学生へのオフィスがあって、スタッフの人がとても親切なので安心でした。
滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)	寮に住んでいました。来たばかりの頃はあまりいい環境ではありませんでしたが、最後の学期にはリラックスできる環境になったというイメージがあります。いろいろな国から来ているので、アメリカだけでなくいろいろな国の人と友達になれるところが好きでした。ルームメイトも、私の親友となりました。基本的にキッチンやシャワーなどの設備は整っています。
交友関係	一番仲良かったのは香港から来た人でした。やはりアジア人同士は仲良くなりやすかったです。たとえ英語が拙くても、仲良くなれば会話に困ることはあまりありませんでした。その香港の学生とは、料理を一緒にしたり、一緒に勉強したり、お互いの部屋に行ったりして同じ時間を過ごしたりしました。アメリカ人と仲良くなるには、授業で積極的にクラスメイトに話しかけたり、インスタやスナップチャットを交換したりしていました。ただ、それほど仲良くなれなかったのが少し心残りです。
困ったこと、大変だったこと	留学先ではバイトが出来ないため、行く前にもっと貯金をしておけば良かったなと常に感じていました。(親のお金では遊びづらいので…)最初の3、4か月はホームシックで、毎日の授業の課題も大変で、精神的にきつかったです。気分のいいときと悪い時の差が激しかったなと覚えています。しかし、ホームシックを乗り越えれば、毎日がとても楽しくなりました。また、アメリカ人との感じ方が違うので、失礼をしていたらどうしよう、と感じることはたまにありました。
学習内容・勉強について	日本の大学とは本当に違い、毎日課題が出ます。授業時間は短く、自分で学習する時間がとても長かったです。私はこの方が勉強していると実感できるため、好きだなと思いました。英語で授業を受けることについては、最初は内容がよく理解できなかったけれど、慣れれば自然とできるようになると思います。また国際日本学部にはない人類学やパブリックスピーキングなど面白い授業が沢山あり、自主的に学ぶという癖がついた気がします。

課題・試験について	課題はほぼ毎日、もしくは毎授業出ている、放課後に取り組んでいました。親切な先生ばかりで、わからないことがあったら聞きにおいでね、と声をかけてもらっていたので心強かったし、実際に質問して課題を乗り越えていました。試験は期末テストのある授業とない授業がありました。優しい先生なら、留学生には多めの時間を設けてくれたり、電子辞書の利用を許可してくれる先生もいたので、いい成績を取ることも夢ではありませんでした。
大学外の活動について	大学にあるジムが1学期15ドルで利用できたので、体型維持のために通っていました。また、大学の留学生専用のオフィスで、日本人アンバサダーとして働き、多少の奨学金をいただきました。週に3時間という少ない時間でしたが、マーケティングを肌で学ぶことが出来、インターンをしているような感覚でした。とてもいい経験になったと思います。(各学期各国一人なので必ずできるとは限りません)他にもボランティアに参加したり、できるだけ多くのことにトライするよう心掛けていました。
留学を志す人へ	もともと留学を考えている人だけでなく、日本での大学生生活がなんとなくつまらない、物足りない、将来仕事に使える英語力を身に付けたい、と考えている人は、ぜひ留学してほしいです。日本にいてはできないことばかりで、問題に直面した時の自分が試されたり、人間的に成長できる場だと強く感じます。もし留学をしたいなら諦めないで下さい！学校選びについては、私はあまり気候などについて考えずに選びましたが、寒いところ、暑いところなど人によって好き嫌いもありますし、私の住んでいた地域は雨が多い地域だったので、そういったところにも気を配った方がいいかもしれません。

1 週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	9:00 Public Speaking	9:00 Public Speaking	9:00 Public Speaking	9:00 Public Speaking	9:00 Public Speaking	睡眠	睡眠
	11:00 American Mosaic	11:00 American Mosaic	11:00 American Mosaic	11:00 American Mosaic	11:00 American Mosaic		
午後	14:15~18:25 Intercultural Communication	宿題、ワークアウト	午後	14:15~18:25 Intercultural Communication	宿題、ワークアウト		
	昼寝	昼寝	昼寝	昼寝	昼寝		
夕刻	宿題かワークアウト	宿題かワークアウト	宿題かワークアウト	宿題かワークアウト	宿題かワークアウト		
夜	ごはん、ゆつくりする、宿題	ごはん、ゆつくりする、宿題	ごはん、ゆつくりする、宿題	ごはん、ゆつくりする、宿題	ごはん、ゆつくりする、宿題		